

船橋市議会議員

(39歳)

みっはし

三橋さぶろう



議会活動報告

2017年12月1日発行

教員の長時間勤務

小中学校の教職員の多忙化と長時間労働が問題となっています。11月30日に第四回定例会の一般質問で取り上げ、教職員の長時間労働の緩和・解消を求めました。以下に質問内容の要約を記載します。

【質問者：三橋さぶろう】

文部科学省が平成28年度に調査した教員勤務実態調査の集計が発表されました。この調査は教員が1週間あたり学内でどのくらい勤務しているかなど調査され、10年前の勤務実態との比較も出されています。

時間：分

	小学校			中学校		
	28年度	18年度	増減	28年度	18年度	増減
校長	54:59	52:19	+2:40	55:57	53:23	+2:34
教頭	63:34	59:05	+4:29	63:36	61:09	+2:27
教諭	57:25	53:16	+4:09	63:18	58:06	+5:12

どの職種の教員も長時間労働になっています。文部科学省は残業が月に80時間以上の過労死ラインに達する教諭は小学校で34%、中学校では58%に上る状況だとして「看過できない深刻な状況」としています。船橋市内の公立学校でも教職員の多忙化と長時間労働が懸念されますが、市は教育現場の現状をどのように把握されているのでしょうか？ また、教職員の多忙化と長時間労働の原因についてどのように分析しているのか？

(うら面へ)

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(39歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選
・健康福祉委員会 ・民進党派
- 特技： クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族：妻、息子(4歳)